



## グリップヒーター HG/SP 取り付けについて

JJNIN530G1/G2,  
JJZ25530G1

適合車種：NINJA250 (EX250L, P)、NINJA400 (EX400E, G)、Z250

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、  
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



**警告**

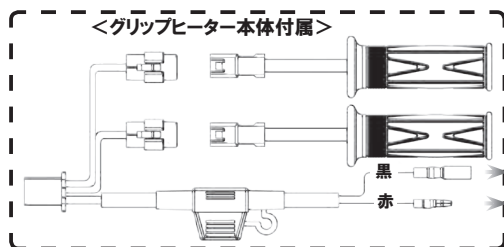
※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な  
事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

### ①配線の接続について（図①）

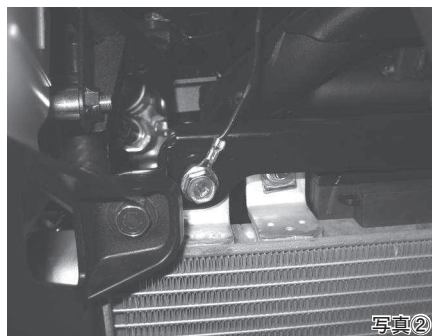
付属している電源線の+側はFRブレーキランプ  
スイッチ部から（写真①）、アース線はNINJA250  
（EX250L）およびNINJA400（EX400E）、Z250  
（EX250C）はラジエター上部のステー部（写真②）、  
NINJA250（EX250P）、NINJA400（EX400G）  
Z250（EX250P）はホーンの取付部写真③）から  
取って接続します。  
アース部は塗装をヤスリやサンドペーパーで剥がして  
から取り付けします。  
このとき、左右グリップ、スイッチを仮接続して  
グリップヒーターの動作確認をしておきます。  
問題無く動作すれば、グリップとスイッチはいったん  
外します。



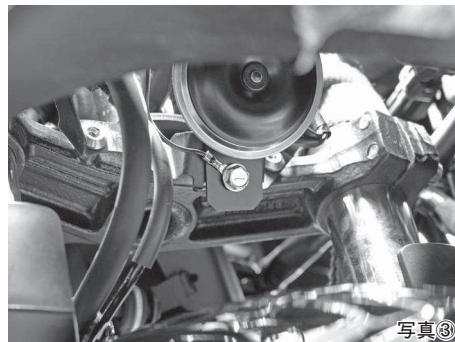
写真①



図①



写真②



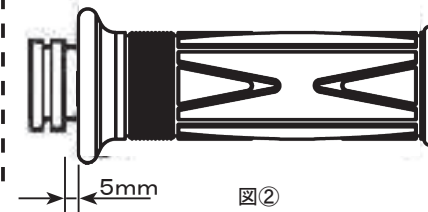
写真③



**注意**

左右のグリップ共にグリップから出て  
いる配線の位置を確認してから取り付  
けしてください。また、右側はスロット  
ルを回した時に配線には絶対負荷が  
かからないようにしてください。グリッ  
プから配線が出ている部分は弱く、断  
線して破損してしまう恐れがあります。

《右グリップ》



図②

### ●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強く  
ねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがあり  
ますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に**1分以上**は暖めないで  
ください。（特に右側）。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかか  
らないように取り付けてください。

※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離れた状態でスロットルが確実に全開まで  
戻ることを確認、点検を行ってください。

### ②純正グリップの取り外し

左右それぞれの純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていたところに付着しているボンドを  
パーツクリーナーなどできれいに取り除きます。

### 《NINJA250、400への取り付けについて》

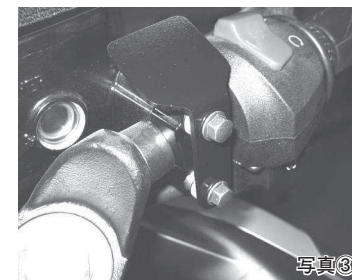
#### ③スイッチ部の取り付け

##### ＜HGの場合＞

付属のステーをマスターシリンダーホルダーに固定します。  
（写真②）

→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置にクランプして  
ください。

両面テープで制御スイッチを固定します。



写真②

##### ＜SPの場合＞

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチを  
ハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定して  
ください。

### 《Z250への取り付けについて》

#### ③スイッチ部の取り付け

##### ＜HGの場合＞

付属のステーをハンドルパイプに固定します。（写真④）

→このとき、ボタン操作の邪魔にならない位置にクランプして  
ください。

両面テープで制御スイッチを固定します。



写真④

##### ＜SPの場合＞

グリップヒーターを取り付ける前に、リングタイプスイッチを  
ハンドルパイプの左側グリップ部に差し込んで固定します。  
→このとき、車両の操作の邪魔にならない位置に固定して  
ください。

#### ④左右グリップの取り付け（参考例）

##### <SPの場合>

グリップヒーター本体の説明書を参考に、スペーサーを先に入れてからグリップを取り付けしてください。

##### <以下、HG、SP共通>

グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。  
また、右グリップは図②のようにスロットルパイプとグリップ間が5MMくらいになるようにしてください。

#### ⑤配線のまとめ

左右グリップの取り付けが終わったら、右グリップの配線はスロットルケーブルに沿うように、左グリップの配線は純正スイッチBOXの配線に沿うように通してのグリップヒーターハーネスのカブラーに接続します。

##### ●構成部品●

- ・専用スロットルパイプ・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・アース線・・・1本
- ・メータステー（HG・NINJAのみ）・・・1個
- ・取扱説明書

また、配線の長さが余ってしまっている部分は純正のメータステー部にタイラップなどでまとめて固定します。  
→ハンドルを左右に動かしてハーネスに力がかかっていないか、ハンドル操作、レバーの操作の邪魔になっていないか、スロットル操作の邪魔になっていないかどうか確認します。

#### ⑥取り付け完了

ステー部にメーターを固定して、取り外した部品を元に戻します。  
その後、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市大字山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625  
[www.endurance-parts.com/](http://www.endurance-parts.com/)

2019.08.19